

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実 習
科 目 名	臨床実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	320 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	三年次		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	門脇 康浩 他	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施していた。			
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士が働く現場において、学内で学んだ技術や知識をもとに体験学習を行う。また、言語聴覚士の役割や関連職種とのチームアプローチ、現場をとりまく医療・社会福祉制度について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
実習指導者が評価した実習における目標達成度と、実習終了後に行なう症例報告会や提出物の内容を合わせて評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
1～3年で使用した教材、配布プリント他						
《授業外における学習方法》						
実習室を使用して学生同士で検査練習を行なう						
《履修に当たっての留意点》						
2年次に臨床評価実習として160時間、3年次に臨床総合実習として320時間履修する。臨床評価実習終了後、中間評価をし、及第点を超えている場合に3年次の臨床総合実習を履修できることとする。臨床総合実習終了後に最終評価をし、科目認定を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
320 時間	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている一般目標および行動目標が達成できる。	各種教科書	実習で感じた疑問解決のための自己学習 症例記録記載	
		各コマにおける授業予定	実習への心構え、実習オリエンテーション、医療機関実習(8週間)			
	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で行った経験を簡潔にまとめ、分かりやすく報告できる。	各種教科書	レジュメ作成	
		各コマにおける授業予定	症例報告会			

